

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 14 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '老朽管石綿管更新事業'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes a detailed description of the asbestos pipe replacement project.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Includes a table for '活動指標' showing progress from 26 to 30 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts and costs for 26, 27, 28, 29, and 30 years. Includes sub-tables for '事業費の内訳' and '人員費'.

Table showing '27年度事業費実績 (千円)' and '28年度事業費 予算 (千円)'. Includes a summary row for '合計'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 28年度, 29年度, and 30年度の事業内容. Includes a note about reporting content for 28 years and a list of main activities.

事務事業名	老朽管石綿管更新事業	事務事業No.	40801000600	所属課	水道課
-------	------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

- 石綿セメント管が老朽化して漏水事故が頻発しており、清浄な水道水の安定供給を図るため平成15年度に開始した。
- 石綿管の残存延長が長く全面更新するには、多大な財源が必要である。また、漏水事故の減少傾向により苦情が減った。
- 国においても更新を推進しているが、自主財源が乏しく起債や一般会計の繰出し金に頼る現状である。
- また、老朽管が多く残っているため有収率を上げることは困難で、減少を食い止めていくことが現状である。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特にありません。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 石綿管の更新により、漏水・破損事故の減少に結びつき、その結果安定的な水の供給につながっている。また、有収率は横ばい状態にある。総合計画の上水道の整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 使用者に安心・安全で清浄な水道水を安定供給するため。水道管は、市の財産であり市で管理を行うものである。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 石綿管の破損事故や漏水事故が多発しているため、対象地区を変更して今後も計画的に石綿管の更新をすることが求められる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 破損事故や漏水事故が多発し、有収率の低下及び修繕費が増加し安定供給の破壊につながると思われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 破損や漏水を防ぐ事業は他にない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 道路改良工事等に伴う受託工事によって、工事の削減が可能である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 現在、耐震性にも問題がある古い石綿管を更新することで市内全域の公平性を確保している。水道水は、市の資産でありこの事業で受益者負担を求めるものではない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	石綿管の破損事故や漏水事故が多発しているため、対象地区を変更して今後も計画的に石綿管の更新することが求められる。今後は、市街化調整区域が対象となるため、公共下水道事業と同時施工できる箇所は無く連携できない。しかし、道路工事であれば考えられる。																											
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 有効性の改善</td> <td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 統廃合ができる</td> <td><input type="checkbox"/> 連携ができる</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																												
<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																												
<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる																												
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
	低下																												
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																											
		成果優先度評価結果 ④																											
		コスト削減優先度評価結果 ⑧																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>